

学年通信

岡山操山高等学校1年次生
生徒の皆さんへ
そして保護者の皆様へ

平成21年3月26日

【2年生に向けて】

第3回保護者説明会には142名の方にお越し頂き有り難うございました。御欠席の方にはお子様を通じて資料をお配りしました。保護者の皆様には内容的に重複する部分もありますが、生徒諸君に向けて、あらためて2年生に向けて考えて欲しいことを書きます。

2年生とは葛藤の時期 であると思っています。理科・社会の授業が本格的になって、質量ともに学習のレベルアップが求められます。一方、部活動・生徒会活動などでもリーダーとしての役割が求められるようになります。やらなければならないことが増えていく中で、必ずしも望み通りの結果は出ないだろうと思います。その時、どうするか。

分かりやすい例を出します。部活動で3年生が引退した後のことを想像してみましょう。体育部であれば、新人戦。ここで思わぬ敗戦を喫した。部員の中では、もっと練習を頑張ろうという声と、勉強が気になるからそんなに頑張れないよという声が対立した。さて、どうする？ 言ってみれば、そういう話です。勉強と部活動との関係だけでなく、自分が主体的に動くということは矛盾や対立を抱え込むということです。進路志望をめぐって保護者の方とも対立するかも知れない。その時どうするか？

そういう意味で、**2年生とは実行の時期** であると思います。「やります」「やっています」という口先だけのごまかしは通用しない時期です。3学期にHR担任の先生と1～2回の面接を行いました。駿台ハイレベル(2学期)・学研ハイレベル(3学期)を受けた人は、成績表の返却の時に、HR担任以外と面接をしました。それぞれで、具体的なアドバイスを受けたはずですが、それらの面接の成果は生きていますか。

「やる」とは「成果が出るようにやる」ことであり、「できる」とは「(何も見ないで)一人でできる」ことです。さらに、「分かっている」とは「他人に教えることができる」ということです。成果がでるようにやるためには、時には自分の生活を変えないといけません。その決断をするのは君たち自身です。

最後に、**2年生とは粘りの時期** であると考えます。せっかく葛藤しながら実行しても、上手くいかなくて、「や～めた」になるのだったら、葛藤は次に繋がりません。そこで諦めないことが肝要なのです。卒業式で國友校長が言われていたように、矛盾や葛藤をどう止揚するか。それを求めて、試行錯誤しながら粘り続けることで、成果が上がり始めます。それ以前に諦めるのはもったいないのです。葛藤が自分の力量(capacity)を大きくします。簡単に逃げないで欲しいのです。

3年前に川尻先生と二人で京都の堀川高校に1週間研修に行きました(もちろんホテル泊です)。堀川の荒瀬克己校長はNHKの「プロフェッショナル～仕事の流儀～」にも出演された有名な方ですが、荒瀬先生も私たちに次のように言われていました。

堀川では「二兎を追う」という言葉が語られる。例えば2年生は夏から文化祭にかけて、本気で演劇に取り組む。一方、探究科の生徒は文化祭の2週間後に研究発表会(操山の未来航路の課題研究にあたるもの)を控えており、それにも本気で取り組む。この2つを必死でやる。中途半端でなく必死で2つのことをやれば、個人の能力のキャパシティが大きくなる。一度大きくなったキャパシティは小さくならない。

2年生の後半からは受験生 です。その事実とも格闘しながら、自分を大きくする年にして欲しいと思います。

【第5回学力テスト度数分布】

最後の学力テストの度数分布です。直前までインフルエンザが流行していたので、体調不良の人もあったでしょうが、試験の直前ではなく、普段から復習する習慣をつけて欲しいと思います。また、最終の評定は5段階ですが、知っての通り、「1」は単位不認定の意味ですから、実質は5～2までの4段階です。それも絶対評価ですから、「5」または「4」をとってもらいたい。「3」は色々と不十分な点があるということ。「2」はかるうじて単位認定されたということです。観点別評価も含めて、さらなる向上のための反省材料にして下さい。

2008年度 1学年 第5回学力テスト

	現代文	古文	漢文	世界史A	現社	標数II	精数II	数学A	数I速	数I標	理総θ	理総γ	保健	標英II B	標英II A	発英II B	発英II A	家庭基礎
100						1	3	4		2	1							
99～90	10	9	2	23	1	7	11	18	22	1	21	26	40	8	3	4	8	
89～80	34	35	17	29	13	23	21	21	19	15	31	55	70	14	13	17	20	9
79～70	50	26	21	34	16	24	17	22	17	23	30	58	77	10	23	19	20	26
69～60	43	43	32	26	29	30	16	23	14	28	34	50	48	22	34	19	24	50
59～50	47	52	44	41	44	28	9	35	10	27	43	28	28	23	26	21	16	85
49～40	38	37	36	21	63	14	9	33	11	28	41	27	4	21	28	15	14	61
39～30	26	39	59	37	55	15	15	43	12	14	31	13		19	9	11	12	33
29～20	14	20	45	34	41	8	9	37	5	11	25	12		20	5	14	6	3
19～10	2	5	16	15	9		4	28	4	6	8	3		4	2	7		
9～0			2	7	1	2	1	12	1	1	1			3		1		
平均点	60.3	55.8	46.1	53.8	46	61.6	61.8	47	66.7	54.9	56.8	67.2	75.9	52.4	58.7	55.6	62.7	54.2
最高得点	99	97	91	99	94	100	100	99	100	93	100	100	97	99	99	95	97	87

* 各科目の評価の観点は概ね次の通りです。

関心・意欲・態度

思考・判断 (国語は「話す・聞く能力」。数学は「数学的な見方考え方」。芸術は「表現の工夫」。
英語は「表現の能力」)

表現・処理 (教科によっては「技能」も。国語は「書く力」。保健は「知識・理科」。
英語は「理解の能力」)

知識・理解 (国語は「読む力」。芸術は「鑑賞の能力」)
(国語のみ)知識・理解

裏面に続く

【返金について】

学年会計の報告を通知票と同封しております。また**返金がある方にはその旨を記載した文書を同封しております**ので、お確かめ下さい（返金がない方は、会計報告の文書だけです）。

3月26日にお子様を通じて返金いたしましたので、御確認下さい。26日に欠席されている場合は、後日お子様が登校された際に担任まで取りに来させてください。

模試会計につきましても、返金がある方はその旨を記載した文書を同封しておりますが、返金は先週お子様にお渡ししてありますので、あわせて御確認下さい。

【来年度前半の主な行事予定】

4月 7日（火）新クラス発表・転退任式・新任式

4月 8日（水）入学式・始業式・対面式・写真撮影

4月 9日（木）宿題テスト（英数国理）

4月11日（土）新入生歓迎会（午前中）・・・部活動があります。

4月25日（土）土曜活用講座

4月28日（火）ブロック結団式

5月14日（木）～19日（火）第1回学力テスト

5月15日（金）PTA総会（総会后、クラス懇談）

5月22日（金）春季球技大会

5月23日（土）土曜活用講座

6月 9日（火）第1回実力テスト（英数国）

6月13日（土）駿台ハイレベル模試（希望者）

6月16日（火）～19日（金）修学旅行

6月27日（土）中高授業公開

6月29日（月）振替休業日（6/27の分）

7月 6日（月）～11日（土）第2回学力テスト（9日<木>が振替休業日）

7月17日（金）1～4限授業、5限大掃除、6限終業式

7月18日（土）進研模試（英数国）

7月21日（火）～24日（金）、28日（火）、29日（水）・・・補習（午前中）

7月27日（月）保護者面談中心日

7月30日（木）オープンスクール

7月30日（木）午後～8月1日（土）勉強合宿（希望者）

*勉強合宿は湯原温泉「輝乃湯」で2泊3日で実施を計画しています。朝から寝るまで、とにかく勉強づけの状態を経験する合宿です。費用は参加者数によって前後しますが、大体2万円あれば足ります。自分のキャパシティを大きくしたい人は是非参加しましょう。部活動などの関係で参加できない人は、3年生の8月上旬にも計画しますので、そちらを期待しておいてください。

8月17日（月）補習開始

8月31日（月）始業式・宿題テスト

【今月の詩】

石垣 りん（大正9年<1920年> - 平成16年<2004年>）の「表札」。

ホームページ版では省略

* 小学校を卒業した14歳の時に日本興業銀行（戦前の政府による特殊銀行。主に重工業に融資。現在の「みずほ銀行」の前身の一つ）に就職。銀行員詩人と呼ばれた。

* 教科書に載ることの多い人です。この人の詩を読むと背筋がシャンとします。敬愛する年上の女性に叱られた男の子の気分です。なお、フリガナは岡田が付けました。

「学年通信」についての御意見・御感想は岡田泰全までお願いします。

(086)272-1241(学校) e-mail: yasumasa_okada@pref.okayama.jpまで、どうぞ。